令和6年度　社会福祉法人　播磨福祉会　播磨保育園　保育士自己評価

本園では、保育の質の向上を図るため、保育士の自己評価を行いました。総合評価に基づき、
本園の自己評価を行いましたので、情報を公開いたします。
※各保育士による自己評価を基に、総合的な結果をだし、評価の低かった点については、改善策を話し合い、
共通理解のもと改善に努めます。

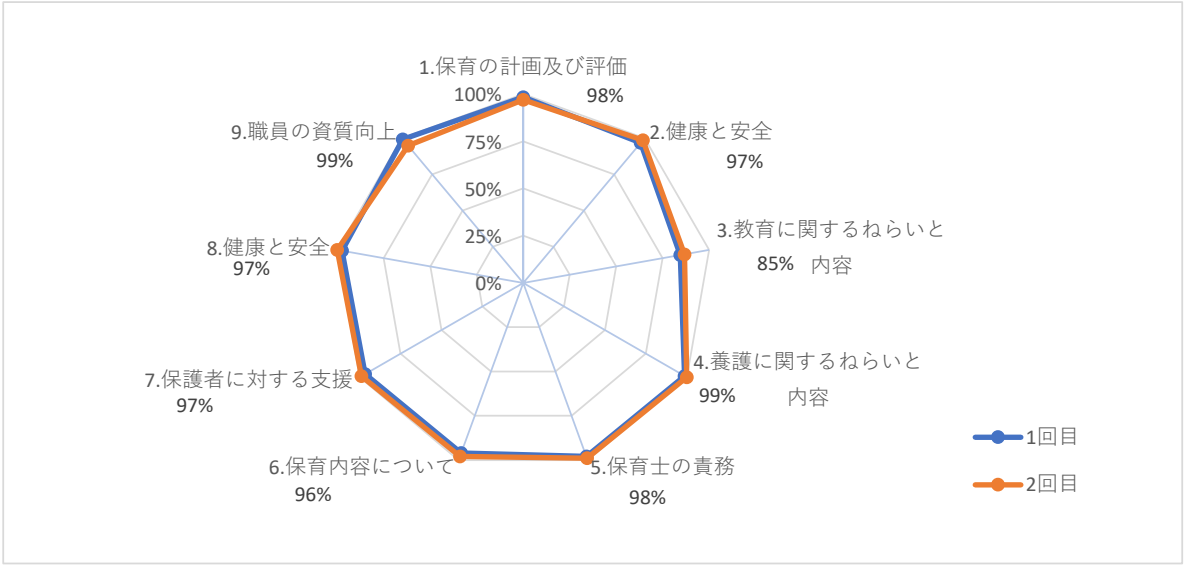
【保育士自己評価】
各項目ごとに評価の回答数を合計して、記載しています。
対象・・・保育士３３名（設問によっては対象人数がことなる場合があります）
※評価対象の保育士人数は、３３名で行ったが、設問の内容により無回答も含め、回答総数が異なる場合が
あります。今回の評価結果を踏まえ、振り返りを行うことにより、保育実践、内容等の課題を見つけ、
改善の方向を探り、保育の質を向上させるとともに今後、さらに豊かな保育を展開していくために
活用していきます。

A：よくできた　B：できた　C：できなかった

◎評価結果（対象：保育士）　　令和7年3月27日実施

※よくできた・できたの割合

項目	１回目	２回目
1.保育の計画及び評価	98%	97%
2.健康と安全	97%	99%
3.教育に関するねらいと内容	85%	87%
4.養護に関するねらいと内容	99%	100%
5.保育士の責務	98%	99%
6.保育内容について	96%	98%
7.保護者に対する支援	97%	99%
8.健康と安全	97%	100%
9.職員の資質向上	99%	95%



●総評

下期は遊戯室の増築工事により、例年に比べると行事や活動にも制約があったが、職員間の連携を
図ることで、大きな問題もなく過ごすことができた。
自己評価においては、子どもが自由に素材や用具などを自分で取り出して遊べるよう環境づくりの項目で、
「できなかった」の回答が多くみられた。まず素材については、廃材を利用するなど職員からも
アイディアを募り、工夫を凝らして環境づくりの改善に努めていきたいと思う。